

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
盛岡ペットワールド 専門学校	平成16年9月21日	工藤 昌雄	〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通10番16号 (電話) 019-604-1151			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人龍澤学館	昭和38年3月14日	龍澤 正美	〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原3丁目4番1号 (電話) 019-622-6357			
目 的	<p>伴侶動物として家庭で飼育されるペットが増え、愛犬のトレーニングに注目が集まる。動物病院でのしつけ教室・犬の幼稚園等が増える近年、ペットトレーナー（インストラクター）として必要な犬のコントロール・管理法・トレーニング法などが必要とされているこのような状況を踏まえ、本学科はトレーニング系事業所を想定した実習・演習を行うことで、人間性・社会性を兼ね備えた能力のある即戦力となる人材の育成をする。</p>					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
動物	文化・教養 専門課程	ドッグトレーナー科	2年(昼)	1820時間 (又は単位)	平成26年文部大臣 告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	380時間	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1440時間		
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	26人	5人	3人	8人		
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 筆記試験、または実技試験に よるA・B・C・Dの4段階評価 			
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め：4月6日 ■夏 季：7月24日～8月20日 ■冬 季：12月18日～1月14日 ■学 年 末：3月19日～3月31日 	卒業・進級条件	<p>出席日数が年間必要な日数の 9割以上であること。 専門科目においてC以上である こと。</p>			
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 個別面談・保護者面談 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 動物系ボランティア・地域清掃 ■サークル活動 (有・無) 			
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 ペットショップ・動物病院 ■就職率^{※1} 100.0% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 100.0% ■その他 (任意) <p>(平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の 情報)</p>	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> 愛玩動物飼養管理士 損害保険募集人資格 トレーナーライセンス(学校認定) 			

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成27年4月1日在学者 15名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 15名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由・進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 月単位を計上し、出席率95%以下～個別面談、出席率90%以下～保護者面談 等</p>
ホームページ	URL: http://www.wanco.ac.jp/

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成を行うにあたり事業所等と連携する上では、本校の「人と動物のより良い関係づくり」という教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を事業所等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける事業所等と連携することを基本方針とする。

学生が、就業先の事業所等において即戦力となり、将来的には業界の発展に寄与できる力を身につけるために、事業所等から最新の動物業界の状況や今後の動向、またトレーニング実務において新たに必要となるインストラクション技術・飼育法等に関する情報を提供いただき、これを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効果的な教育課程の編成を検討していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 7 月 1 日現在

名 前	所 属
工藤 昌雄	盛岡ペットワールド専門学校 校長
高田 孝一	盛岡ペットワールド専門学校 校長代理
三上 祐太	盛岡ペットワールド専門学校 教務部
多田 洋悦	一般社団法人 岩手県獣医師会 会長
保木 千春	DOG GARDEN 青森 代表
菊地 美咲	盛岡ペットワールド専門学校 教務部
白川 優佳	盛岡ペットワールド専門学校 事務局

(開催日時)

第1回 平成 28 年 8 月 3 日 15:00～16:00

第2回 平成 29 年 3 月 1 日 15:00～16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

より専門性の高いトレーナー(インストラクター)を育成するため、学生本人の出身地域や就職希望地域も考慮に入れ、学校内での学びが現場でどのように生きてくるのかを経験させたいという本校の目的を理解して指導にあたっていただける事業所を選定。現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的(基本方針)とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インターンシップ 実習Ⅰ	現場に必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外(おもに東北地区)の動物関連事業所において、実習を行う。	松園動物病院・エル動物クリニック・マルカンペット津志田店・イオンペット盛岡南店・さくらんぼっこ を含む 12 事業所
インターンシップ 実習Ⅱ	1 年次終了実習での課題や反省を活かし、2 年次実習では自ら気づき・考え動くことを目標とする。学校内での既習実習を踏まえて、現場で起こりうる危機管理等にも目を向け、より高い技術を学び実務経験を積むことで即戦力となる人材を育成する。	松園動物病院・エル動物クリニック・マルカンペット津志田店・イオンペット盛岡南店・さくらんぼっこ を含む 12 事業所
ペットビジネス教養 Ⅰ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベント「WANだふるLIFE」の企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	株式会社岩手エッグデリカ 株式会社テレビ岩手

ペットビジネス教養 II	<p>地元の企業と連携し、ペット参加型イベント「ドッグフェスティバル」の企画・運営を行う。</p> <p>ペットビジネス教養Iで行ったイベント企画経験を応用し、よりお客様に満足していただける企画とサービスを提供する。同じ想いをを持った仲間とひとつのことで作り上げることでチームワークを磨くと同時に、犬をコントロールする・一緒に楽しむことを飼い主さんに伝える技術も習得する。</p>	株式会社テレビ岩手
-----------------	--	-----------

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校・本学科の教員として必要な知識、技術、技能や授業および学生への指導力について計画的に教育し、向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡ペットワールド専門学校 研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。

ここでいう研修等には、事業所等から講師を招いて学内で行う研修や学外で事業所等が主催して行われる研修等への参加だけではなく、自己啓発活動への援助も含む。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月21日現在

名 前	所 属
佐藤 れえ子	岩手大学農学部動物病院 病院長
村上 肅	株式会社 マルカンペット 代表
大和田 彩加	盛岡ペットワールド専門学校 卒業生
佐藤 丈嗣	盛岡ペットワールド専門学校 卒業生
岡田 舞	盛岡ペットワールド専門学校 卒業生
工藤 昌雄	盛岡ペットワールド専門学校 校長
高田 孝一	盛岡ペットワールド専門学校 校長代理
三上 祐太	盛岡ペットワールド専門学校 教務部
菊地 美咲	盛岡ペットワールド専門学校 教務部
天瀬 恵美子	盛岡ペットワールド専門学校 教務部
高坂 恵梨香	盛岡ペットワールド専門学校 教務部
菅野 さくら	盛岡ペットワールド専門学校 教務部
吉田 聖	盛岡ペットワールド専門学校 教務部
村上 朝隆	盛岡ペットワールド専門学校 事務局
白川 優佳	盛岡ペットワールド専門学校 事務局

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.wanco.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.wanco.ac.jp/>

URL: <http://www.mclnet.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ドッグトレーナー科) 平成28年度							(1/2)			
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			動物飼養管理総論Ⅰ	動物業界で活躍する上で必須となる動物の飼育法・健康管理等の知識・技術を学校動物の飼育を通して実践し習得する。また愛玩動物飼養管理士の資格取得のため、講義・問題演習等を行う。	1通	200		○		△
○			動物看護学Ⅰ	実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせる犬の健康管理や動物の病気などを座学を通して学ぶ。	1通	50		○		△
○			グルーミング学Ⅰ	犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を行える人材を目指す。シャンプーの手順を理論から学び、簡単なお手入れケアができる技術を学ぶ。	1通	150		△		○
○			しつけトレーニング学Ⅰ	座学を通して犬の行動や学習理論等を学び、それを踏まえ実践実習で犬のコントロール・管理法・トレーニング法を習得する。また、飼い主さんへの説明力と様々な犬や人に対応する柔軟性を身に付ける。	1通	250		△		○
○			インターンシップ実習Ⅰ	学校での教養授業を生かし、動物関連企業と連携してインターンシップ実習を行う。現場における事業主とのやり取り・指示の受け方、また飼い主さんとの対応を学び、現場で必要な社会人基礎戦力を習得する。	1集中	60				○
○			動物飼養管理総論Ⅱ	動物業界で活躍する上で必須となる動物の飼育法・健康管理等の知識・技術を学校動物の飼育を通して実践し習得する。また1年生への飼育指導を通して、後輩への指導力を育成する。	2通	40		○		△
○			動物看護学Ⅱ	実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせる犬の健康管理や動物の病気などを座学を通して学ぶ。	2通	90		○		△
○			グルーミング学Ⅱ	犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を行える人材を目指す。グルーミング学Ⅰの応用として、少ない人数で1頭のシャンプー実習を行える技術を取得する。	2前	70		△		○
○			しつけトレーニング学Ⅱ	しつけトレーニング学Ⅰを応用し、1頭の犬をトレーニングし犬をしつける技術を習得する。また、犬の問題行動に対する知識を学び、飼い主さんと犬に合わせた対処の仕方を提案する技術を習得する。	2通	210		△		○
合計				科目	単位時間 (時間)					

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ドッグトレーナー科) 平成28年度							(2/2)			
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			インターンシップ実習Ⅱ	企業と連携してインターンシップ実習を行う。1年次からの応用として、自ら気づき・考え動くことを目標とし、現場で起こりうる危機管理も学ぶ。	2 集中	150				○
○			ペットビジネス教養Ⅰ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。物事を作り上げる難しさや人と関わる喜びを学ぶ。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	1 通	250				○
○			ペットビジネス教養Ⅱ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。1年次からの集大成として、より高度な接客対応・配慮・危機管理能力を磨く。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	2 通	300				○
合計					12科目	単位時間 (1820時間)				